

第二十一回帝國議會 院 船舶法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治三十八年二月十四日午後三時四十分開議

出席委員左ノ如シ

宮崎 榮治君

梅野 初實君

佐藤 伊助君

阿部 勇治君

菊池 武徳君

岩本 晴之君

川眞田徳三郎君

安藤 新太郎君

荻野 芳藏君

出席政府委員左ノ如シ

遞信次官 田 健治郎君

遞信省管船局長 内田 嘉吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船舶法中改正法律案

船舶職員法中改正法律案

○委員長宮崎榮治君 唯今ヨリ委員會ヲ開キマス、大舩前會ニ於キマシテ、御質問モ終リマシタヤウデゴザイマシタカラ、御質問ガゴザイマセヌナラバ、御意見ヲ伺ヒマス

○荻野芳藏君 私ハ原案ノ全部ヲ賛成致シマス

○川眞田徳三郎君 前回ニ於キマシテ大舩質問ヲ終リマシタガ、是ヨリ意見ヲ述ベマス、私ハ一號表ノ遠海航路百噸未満トアルヲ、百五十噸未満ト修正スル、二百五十噸未満トアルヲ三百噸未満ト修正スル、其他ハ原案通りデゴザイマス、斯様ニ修正致シタイ、展 政府委員ノ説明ガアリ、又貴族院ノ調査ノ速記録ヲ見テ視マシテモ、遠洋航路近海航路ニ於ケル調査ハ、能ク出來テ居リマスガ、沿海航路ニ於テハ甚ダ満足ヲ致シマセヌ、此沿海航路ノ私ノ修正ノ止ムヲ得ヌハ、從來ハ登簿噸數ニ於テヤッテ居リマスガ、此原案ハ總噸數ニナッテ居ル、私ノ修正ノ程度ハ現行法ノ程度ニ致シタイト云フノデ、沿海航路近海航路ニ於ケル程度ハ、總テ現行法ヨリハ緩ニナッテ居ル、然ルニモ拘ラズ單リ沿海航路ニ於テハ、却テ取締ヲ嚴ニスルト云フコトニ至リマシタハ、今日我國ノ航海ノ發達ノ上カラ考ヘテモ、國運ノ發展ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、當ヲ得テ居ルモノデナイト、私ハ確信スルノデアリマス、即チ登簿噸數二百噸ハ三百噸ニ當ルノデ、關西地方ナドニ於テハ、登簿噸數二百噸ノモノハ、先ヅ百八十噸トカ百九十噸トカ云フノデ、サウ云フ船ハ澤山ハナシ、此等ノ航海業者ノ迷惑ハ、至大ナルモノト思ヒマス、此遠洋航海近海航路ノ分チヲ、從來ヨリ緩ニシタノハ、是ハ時世ニ適シタル適當ノ改正案ト思フガ、所デ同一ノ一 同様に即チ航海スベキモノニ於ケル、沿海航路ニ於テハ、却テ之ヲ嚴ニシタト云フコトハ、恐ラクハ政府ノ發案ノ違算デアラウト思フ、此政府委員ノ説明ノ中ニ付イテ、沿海航路ノ航路ヲ延長シタ、即チ延バシタト云フ御説ガアリマシタガ、乃チ關西ニ於キマシテ大阪ヲ起點トシテ下ノ關三達スルモノハ、和歌山三達スルコトハ出來ナイ、又紀州三達スルコトヲ得ルモノガ、伊豫三達スルコトガ出來ナイト云フヤウナ鹽梅デアッデ、一區域若クハ二區域ニ止マルノデアリマス、航路ヲ延バシタト云フテモ、私ガ實際上ノ狀況ヲ認ムルトコロデハ、左様ニ航路ヲ延バシタト云フコトハナイト確信致シマス、總テ航

海ノ時間ニ於テ、凡ソ十時間以内ニ止メテアルノデアリマス、此運轉士機關士ニ於テノ改正モ、特ニ政府ヨリ保護ヲ受ケテ居ル會社デモアレバ宜イガ、小形船ハ保護ナドハ受ケテ居ラヌ、受ケテ居ラヌトコロノ會社ガ、現行法ヨリハ嚴重ナル方法ニナッテ來マスルト、之ニ要スルコロノモノハ、今使用シテ居ル者ヲ解僱シテ、更ニ雇替ヘナケレバナラヌト云フ結果ニナル、今實地ノ經驗アル者ヲ廢シテ、更ニ新規ニ試驗ニ及第シタ者ヲ要スルト云フコトニナル、經驗ノ有ル者ガ宜イカ、又學問ノモノ者ヲ採ルカト云フコトハ、我國ノミナラズ、世界列國ニ於テモ、亦問題デアルト考ヘマス、社會ノ信用ハ、當ニ學問ノミナラズ、實地ノ經驗ニ信用ヲ措クニ、是等ヲ總テ廢サナケレバナラヌコトニナルト云フハ、隨分不便利ト云ハナケレバナラヌ、又政府ノ統計上カラ見レバ、資格者ハ澤山有ルヤウニ現ハレテ居リマスガ、其事實ハ海軍ノ乘組員ナド、異ッテ、命令ヲ以テ乘込マスノアナク、各々雇入レルニハ、經濟モ伴ッテ居リ人ヲ任選スルモ、船主トシテハ注意ヲ要スル、又海員ノ卒業免許狀ヲ受ケル者モ、一家ノ事情モ有ッテ、悉ク海上ノ働カスル譯ニ往カヌ、沿海航路ニハ海難ガアルト云フコトガ有リマスガ、海難ハ偶々衝突トカ坐礁トカ、是ハ總テ大形船ニモアリ、小形船ニモアリマスガ、比較的近來ハ減ッテ居ルト私ハ信ズル故ニ、一番政府ニ向ッテ、疏通ノ途ノ開ケテ居ラヌ、小形船ノ沿海航路ニ向ッテ、今日ノ國運ノ發達ノ上カラ見レバ、幾分カ猶豫シテ置カナケレバナラヌ場合ニ當ッテ之ヲ嚴ニスルト云フニ至ッデハ、此法案ヲ提出セラレタ御趣意ニモ反シテ居ルト思フ、私ハ假令此場合、私ノ修正案ガ若シ不幸ニシテ、否決ノ場合ニ立至ルトモ、私ノ考トシテ世ノ沿海航海者ノタメニ、此ノ如キ案ヲ此場合通過サシテ、法律トナッテ來テハ甚ダ不幸ナリト云フコトヲ、茲ニ言明ヲ致サナケレバナラヌト思フ、私ハ已ムヲ得ス、此場合、此修正案ヲ提出シテ、大略意見ヲ述ヘテ置キマス

○委員長宮崎榮治君 念ノタメニ申上ゲマスガ、先日船舶法ニ付イテハ、御質問等モアリマセヌデ、決議モ延バシテ置キマシタガ、今日ハ兩案ニ付イテ、御意見ヲ御述下ッデ宜ウゴザイマス、決議ハ船舶法カラ順ニ採リマス

○安藤新太郎君 船舶法ニ付イテハ政府案ヲ賛成致シマス

○岩本晴之君 船舶法ニ付イテハ、原案ヲ賛成致シマス

○委員長宮崎榮治君 船舶法ニ付イテハ御意見アリマセンカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○委員長宮崎榮治君 船舶法ハ、原案ニ御同意ト認メマス

○荻野芳藏君 質問ハ一舩結了シタ譯デアリマスガ、此場合チヨット必要ガアリマシテ、政府委員ノ御答ヲ得タイト思ヒマス、唯今川眞田君カラ述ベラレマシタ點ハ、私共モ先日協議會時ノ同様に意見ヲ持ッテ居リマシタガ、政府ノ方デハ同意ガ出來ヌト云フヤウナコトデゴザイマシタ、今度ノ沿海航路ニ向ッデハ、詰リ他ノモノ、範圍ヲ擴メタト云フヨリ、却ッテ反對ニ修正サレタヤウニナッテ居ル、從テ沿海航海ニ付イテハ、段々航路ノ範圍ガ擴メテアルト云フコトハ、將來トテモ當局者ハ、唯今ノ如ク若クハ將來今ヨリ一

層、責任が重クナツタカラ、航路ヲ擴張セルコトヲ御ヤリニナル御考デアラウト思ヒマスガ、此點ニ付テ御尋シテ置キタイ

○政府委員内田嘉吉君 唯今ノ御尋ニハ、航路ノ延長ヲ將來ニ於テ、尙ホ實施スルヤ否ヤト云フ御尋ニアリマスガ

○萩野芳藏君 サウデス

○政府委員内田嘉吉君 是ハ唯今確定シテ御答ヲ申上ケルコトハ出來マセヌガ、ヤハリ海運上ノ情況ニ依ツテ、航路ノ範圍ヲ觀察シテ、場合ニ應ジテ、相當ノ處置ヲ取ル積リデアリマス、必ズ將來ニハ擴張セヌト云フコトヲ、申上ケルコトハ出來マセヌ、又逆マニ擴張スルト云フコトヲ、申上ケルコトモ困難デアリマス

○菊池武徳君 私ハ萩野君ニ賛成致シマス

○梅野初實君 私モ原案賛成

○阿部勇治君 私モ原案賛成

○委員長宮崎榮治君 他ニ御意見ハアリマセヌカ

○岩本晴之君 私ハ甚ダ是デハ苦慮致シマスガ、如何セン川眞田君ニ賛成シテ置キマス

○政府委員田健治郎君 川眞田君ノ御修正説ニ、御賛成ノ方モアツタヤウデスカラ、一應此場合、原案維持ノタメニ、一言申上ケテ置キマス、川眞田君ハ此遠海航路ノ中ノ船ニ限リテ、獨リ非常ニ事務が多クナツタ如クニ言ハレマシタケレドモ、サウデハナイノデ、近海航路ノ船舶ニモ、増員ヲ要スルモノガアルデス、ソレデ此案ガ出來マシタノハ、詰リ多年ノ經驗ニ依リマシテ、大抵ハ此噸數デ極メルト云フデアリマスガ、各船舶ノ種類ニ至リマス、多年ノ經驗ニ依リテ、職員ノ適當ナル者ヲ乗組マセ、航海ノ安全ヲ保護スルト云フノガ、ヤハリ目的ニナツテ居リマス、ソレデ今イロ／＼此人員トカ職員ノ多少トカ、遠海航路ノ長短トカ云フコトニ付イテ、議モゴザイマシタガ、是ハ過日以來申述ベテゴザイマスカラ、別ニ繰返シテ申上ル必要モゴザイマセヌカ、要スルニ川眞田君ノ御説ハ、詰リ船舶營業者ガ幾ラカ負擔ガ重クナルガ故ニ、甚ダ困難デアル、今日此航海業ノ發達、國運ノ進歩ト云フ際ニ於テ、斯カル事ヲスルノハ、時勢ニ反シタカノ如キ、御説ニ承ハリマシタガ、是ハ政府ノ當局者シテ見ル所ハ、恰モ反對デアルノデス、此航海業ノ發達時勢ノ進歩ト云フ際ニハ、益々船舶ヲ良クシ、又乗組マセル職員ヲ善クシ、而シテ又航路安全、運送ノ安全ト云フコトヲ、鞏固ナラシムルト云フノガ、即チ國運ノ進歩ニ伴フ必要ナルコトデアラウト思フノデス、要スルニ此船舶ノ營業者ト云フモノハ、決シテ唯ダ一人ノ利益ノミヲ目的トスル者デナクシテ、公衆ノ生命財産ヲ預カテ、運動スル業デアリマスガ故ニ、是ニ對シテ幾ラカ安全ヲ缺クト云フヤウナ嫌ヒガアリマシテハ、實ニ相濟マヌ次第デゴザイマスカラ、ソレデ成ベク實地ニ行ハル、以上ハ、其安全ヲ保ツコトヲ努メナケレバナラヌデアリマス、ソレガタメニ、幾ラ小船舶業者ノ責任ガ加ハルト云フコトハ、誠ニ已ムラ得ヌ次第デアリマスケレドモ、實際ニ於テハ差支ナク往ケルト云フコトハ、當局者ガ飽マデモ信ジテ居ルノデスカラ、ドウカ原案ニ御協賛アルヤウニ致シタイト思ヒマス

○委員長宮崎榮治君 別ニ御意見ガゴザイマセヌケレバ、決ヲ採ルコトニ致シマス、唯今別表ニ付イテ川眞田君カラ、御修正説ガ出テ、岩本君ノ御賛成ガアリマシタカラシテ、

先ヅ此原案修正ノ方カラ決ヲ採ルコトニ致シマス、川眞田君ノ修正説、即チ別表ノ中、遠洋航路ノ百噸未満ヲ百五十噸未満、二百噸未満ヲ二百五十噸未満ト云フ、此修正説ニ御同意ノ方ハ、舉手ヲ願ヒマス

舉手者 三名

○委員長宮崎榮治君 原案ニ賛成ノ諸君ハ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 五名

○委員長宮崎榮治君 原案ノ方ガ多數デアリマスカラ、原案ニ決シマス、其他ハ別ニ御意見モアリマセヌカラ、其他ノ箇條ハ別ニ御意見ナキモノト認メマス、是デ總テ決セラレマシテゴザイマスガ、チヨット私ハ政府委員ニ、希望ノ廉ヲ申上ケテ置キタイト思ヒマスガ、唯今原案ノ通ニ委員會ハ決シタノデゴザイマスガ、此委員ノ中ニ於テモ、實施上如何デアルカト云フコトヲ、憂慮セラレ、方モアルノデスカラ、ソレニ就イテハ、附則ニモ明治三十八年十二月三十一日マデ云々トアリマスカラ、是マデノ間ニハ、相當ノ資格ノ人モ増シテ、サウシテ實際ニ差支ナイヤウナコトニ、ナラウカト考ヘマスガ若又實施上差支ガアル場合ニ至リマシテハ、何トカ政府ニ於テモ、營業者ノ困難ヲ來サルヤウナコトニ將來ニ於テ篤ト御考ヲ御ツケ下サルヤウニ願ヒマスガ、先刻内田政府委員ノ御話ニハ、増加スル船舶ノ數ト、増員ノ職員ノ數ト、實際差支ナク往ケルヤウニ思ヒマスケレドモ、又營業ニ委シイ御方ノ御話ニ依レバ、政府委員ノ御話ノヤウニ、サウ海員ガ澤山餘ッデ居ラヌト云フ説モゴザイマスカラ、其點ハ如何ト云フコトヲ、甚ダ懸念致シテ居リマス、併シ實際ハドウデゴザイマセウカ、當局ノ御考デハ、差支ナイ御見込デセウカ

○政府委員田健治郎君 差支ナイ見込デゴザイマスガ、尙ホ實施上ニ就イテハ、十分注意ヲ致シマシテ、海員ナドモ成ベク受驗シテ、相當ノ免狀ヲ得ラル、ヤウナコトニ付イデハ、ソレ／＼注意ヲシテ、成ベク差支ナイヤウニ努メルト云フコトハ、飽マデ注意ヲ致シマス

○委員長宮崎榮治君 ソレデハ是デ濟ミマシタヤウデスカラ、閉會ヲ致シマス
午後四時三十一分散會